

さらなるネットワーク仮想化を牽引

QFX5100スイッチがVMware NSXの認定を取得

2016年9月

最新ニュース



ジュニパーネットワークス **QFX5100** スイッチが
VMware NSX の認証取得

VMware とのコラボレーションで新たな成果が生まれました。ジュニパーの [QFX5100 スイッチ](#) が VMware の NSX ネットワーク仮想化プラットフォーム間の認定を取得しました。

これは、ジュニパーと VMware のお客様が求めるインテグレーションの実現に向けて、両社の [アライアンスが成功](#)していることを示しています。企業の間でソフトウェア定義データセンターモデルへの移行が進む中、コンピューティング、ストレージ、ネットワークの各機能が仮想化され、オーケストレーション ソフトウェアとの連携が実現します。

ジュニパーと VMware の共同ソリューションは、クラウド環境でのアプリケーションの機動性アップを求めるお客様にイノベーションをもたらします。

ジュニパーの CMO、マイク・マーセリンは今回の VMware 関連のニュースについて次のように [ブログに投稿](#)しました。

「認定に至るまでの過程においても、多くのお客様がすでに共同ソリューションをネットワークに導入し、成功を収めています。例えばオランダの IT サービス プロバイダ、[OGD ict-diensten](#) もその 1 つ。お客様の需要、進化する IT サービスのプロビジョニング、刻々と変化する状況に的確に対応するため、サービス内容を拡充して新アプリケーションを素早く簡単に收容し、エンドユーザーの自由度を高める必要がありました。そこでジュニパーのオープン ネットワークアーキテクチャと VMware の NSX を連携させることで、マルチテナント型の **IaaS (Infrastructure-as-a-Service)** プラットフォームを開発、環境を複雑化させることなく完全カスタマイズ型ネットワークのセットアップが可能になりました。しかも、完全に標準化・自動化された手順で実現可能です」

マーセリンは、ジュニパーネットワークスと VMware の組み合わせを活用している別のお客様事例として、**IaaS** クラウド コンピューティング プロバイダの [ZettaGrid](#) を紹介しています。同社は、ジュニパー、VMware と協力して、オーストラリア最先端のセルフサービス型クラウドインフラプラットフォームを提供し、ネットワークとの完全統合を実現しています。

QFX5100 スイッチ シリーズに加え、以下のメリットも期待できます。

●ジュニパーネットワークス **MX** シリーズ **3D** ユニバーサル エッジ ルーター、**EX9200** イーサネット スイッチ、**QFX10000** ライン :

→レイヤー2 ブリッジだけでなく、VMware の NSX Virtual Extensible LAN (VXLAN) オーバーレイのルーティング ゲートウェイも導入することにより、ユニバーサル SDN ゲートウェイ (USG) として機能します。

●Junos Space Network Director :

→VMware の vCenter (vSphere の一部) や NSX と連携し、オーバーレイとアンダーレイとして、物理、仮想両環境を対象にネットワークと VM の可視化機能を組み合わせることができます。

●Network Director :

→VMware の vRealize Operations 用のジュニパーのプラグインを導入した場合、サーバーインフラ運用チームはネットワーク状態やトラブルシューティングの可視化機能を VMware GUI の共通画面上で利用できます。

マーセリンはブログ記事で「QFX5100 スイッチが VMware NSX 認定機となり、お客様にこれまで以上の安心感、相互運用性、エンタープライズ グレードのパフォーマンスをお届けできるようになりました」と締めくくっています。

パートナー センターで入手可能なセールスとマーケティングの資料

新ソリューション ブリーフ、導入ガイド、セールス プレイブック、販売プレゼンテーションなど最新のセールス ツールがパートナー センターの「[データ センター&クラウド](#)」ページでご利用いただけます。「販売リソース」タブをクリックしてから、「技術アライアンス」をご覧ください。



次世代データ センター開発関係者向けのノウハウが詰まった最新刊『QFX10000 Series』、QFX10002 が米国防総省の認証取得

ジュニパーの汎用スイッチによるデータ センター設計に必要なノウハウがすべて詰まった最新刊『The QFX10000 Series』がジュニパー オライリー テクニカルブックスに仲間入りしました。Junos Fusion から EVPN、パフォーマンスやスケーリングに至るまで、著者であるジュニパーのダグ・ハンクスが QFX10000 のスイッチングや仮想化、特にデータ センター ネットワークのコアに関する主要コンセプトを紹介します。

関連ニュースとして、ビル・シェルトンのブログ記事で、[QFX10002 が米国防総省の認証を取得](#)した旨が発表されました。



『QFX10000 Series』の書籍版、電子ブック版ともに [O'Reilly](#)、[Amazon](#) で好評発売中です。また、世界各地の書店、オンライン書店でもご購入いただけます。[O'Reilly.com](#) にてプロモーション コード「AUTHD」を入力すると、1 部または少部数の注文の場合で 40~50% の割引になります。

50 部以上の大量注文の場合の割引については、担当者 [Patrick Ames](#) までお問い合わせください（同書籍は英語版のみです。お問い合わせは英語のみの対応です）。

『QFX10000 Series』 推薦の言葉

- 「ネットワーク機能の提供方法や利用方法が様変わりしている中、QFX10000 であれば、最新のデータ センターにも柔軟な構成で対応できます」
—VMware アーキテクト アンソニー・バーク
- 「QFX10000 でジュニパー製品ならではのメリットをフルに引き出したい場合、何らかのガイドが必要ですが、まさにこの本がその指南役になってくれます」
—Packet Pushers 共同創業者 イーサン・バンクス
- 「大規模データ センター ネットワークの設計はもちろん、先進の機能の設計・導入方法に至るまで、詳細なデータと実例を基に網羅的に価値あるヒントが満載」
—Uber ネットワーク責任者 ブライアン・タム
- 「ジュニパーネットワークス QFX10000 は、汎用チップセットにはない差別化ポイントとして機能と価格のバランスが優れています」
—IETF オペレーション・管理分野ディレクター ジョエル・ジャグリ
- 「QFX10000 を細部に至るまで理解しておきたいネットワーク エンジニアにとって、本書は使い勝手のいい貴重な情報源です。Twitter でも業務に大活躍しています」
—Twitter バックボーン 主任エンジニア ティム・ホフマン

セキュリティ関連のニュース・資料



セキュリティの重要性を探るオンライン セミナー「[Security on Caffeine](#)」、プロモーションと各種資料も併せて紹介

製品マーケティング担当ディレクターのスコット・イーモと、テクニカル マーケティング エンジニアのマイク・パーキンがジュニパーのカフェテリアで和やかに対談。Sky Advanced Threat Prevention (Sky ATP) がゼロデイ攻撃を阻止する仕組みについて語り合います。収録時間は全 3 分間。これまででも最短時間のオンライン セミナーとなる「Security on Caffeine」。脆弱性が生まれる理由を徹底的に解明します。

毎月お送りしているセキュリティ関連のオンライン セミナー シリーズから、細部にまで掘り下げたセミナーをご覧ください。

- [ファイアウォール移行](#)
- [Security Director](#)
- [Sky Advanced Threat Prevention](#)
- [ジュニパーのセキュリティ ビジョン 2016](#)
- [ジュニパーネットワークス 2016 年セキュリティに関するビジョンとキャンペーン](#)
- [ジュニパーのセキュリティ製品による課題克服と成功](#)

● ジュニパーのエンタープライズ向けネットワークセキュリティソリューションの 販売チャンスの見極めと製品ポジショニング

一元管理されているセキュリティ関連のプロモーションやセールス資料

現在実施中のプロモーションを始め、セキュリティ関連のセールス&マーケティング資料を一覧したい…。そんなときはパートナーセンターの「[セキュリティ](#)」ページが便利です。

新登場のビデオシリーズ、インフォグラフィックス、適用領域、サポート用のセキュリティセールスプレイ



パートナーセンターと YouTube で新しい[セキュリティ関連のセールス&マーケティング資料](#)が公開されました。その1つが、米州エンタープライズマーケティング担当シニアディレクターのカーター・カーシュとシニアセールスディレクターのバイシャリ・ギジャが出演するセキュリティセールスプレイです。

[データセンター](#)、[分散型エンタープライズ環境](#)、[キャンパス](#)、[陳腐化が進むインフラからの移行](#)など、個々のテーマに沿ったセールスプレイをご紹介します。また、パートナーセンターの「[セキュリティセールスプレイ](#)」のページでは、陳腐化が進むインフラに関するインフォグラフィックスなど、新作が公開されています。

現在実施中のプロモーションなど、セキュリティ関連のセールス&マーケティング資料に関する詳細は、パートナーセンターの「[セキュリティ](#)」のページをご覧ください。

JUNIPER AMERICAS SECURITY PLAY

FOR CUSTOMERS WHO NEED TO:
Refresh Aging Infrastructure While Keeping a Focus On Security

PROBLEM
Older security systems are unable to handle modern threats.

CUSTOMERS NEED
A platform that can defend their current security needs, while offering a path forward for future growth and evolution.

97%
Signature-based firewalls, intrusion prevention systems and other cyber security solutions were unable to defend against newer, quicker threats OF THE TIME

JUNIPER PRODUCTS MEET THEIR NEEDS
Our SRX platform is perfectly positioned to help transition away from legacy products for modern security-enablement.

BEST PATH FOR MIGRATION

- ✓ If customers have ScreenOS based platforms deployed, they can migrate to the newer SRX 300 Series.
- ✓ Customers with older SRX 650's can migrate to the SRX 1500.
- ✓ SRX 1400 users can migrate to the SRX 1500, SRX 3000 and SRX 5400 bundles.

Security Director allows customers to easily deploy consistent policy definitions and orchestration across public, private and hybrid clouds and inside the data center.

For more information, visit Juniper.net/sdsn

サービスプロバイダ関連のニュース・資料

Verizon がジュニパーのクラウド CPE ソリューションを利用して仮想ネットワーク サービスを提供

Verizon Enterprise Solutions はこのほど、ジュニパーのクラウド CPE ソリューションを利用して[仮想ネットワーク サービス](#)の提供に乗り出しました。大規模でのサービス提供が自動化されたことに加え、ユーザー企業にとっては、ニーズに適したソリューション選定に当たって、選択肢が大きく広がりました。

サービス提供プラットフォームとして NFV (Network Functions Virtualization) 導入の動きが加速しているのを受け、サービスプロバイダが提供するマネージドサービスのプロビジョニング、契約、利用の形態が大きく変わりつつあります。この結果、事業の機動性が高まると同時に、それまで複雑だった運用環境が劇的に簡素化されます。また、ジュニパーのクラウド CPE ソリューションでは、サービスプロバイダが法人ユーザー向けにマルチベンダー対応機能を提供できる

ようになり、まったく異なる複数システムを管理するような負担もないため、マネージドサービスモデルのあり方まで一変しています。

Verizon では、ネットワークの完全仮想化と仮想ビジネス サービスの提供による信頼性、機動性のアップと効率化をめざしており、今回の仮想ネットワーク サービスはゴールに向けた大きな節目となります。この計画は、同社が掲げる総合的なエンタープライズ ソリューション戦略の重要な柱となるもので、運用管理やコスト管理が簡素化されるため、ユーザー企業のイノベーション促進や競争力強化に寄与します。

Verizon のバイスプレジデント、ショーン・ハクル氏は次のようにコメントしています。

「ネットワーキングの世界は、自動化されたソフトウェア中心モデルへと軸足を移しつつあります。こうした状況の中、今回の発表は、一貫してデジタル革命を志向する当社の取り組みが反映されたものにほかなりません。このモデルは、お客様が新サービスをこれまでにないほど素早く有効化・無効化できるため、刻々と変わるグローバル市場で先頭を走り続けるうえで大きな力を発揮します」

ネットワーク サービス提供のあり方を変える SDN と NFV

SDN と NFV の登場を受けてネットワークの世界が様変わりし、サービス プロバイダ業界ではカスタマイズ型の付加価値サービスをこれまで以上に効率的に提供できるようになりました。エンドユーザーにとっても費用対効果が向上するメリットがあります。こうしたデジタル革命は、ネットワークのコアからエッジまで、あらゆる領域で顕著になっており、ネットワーク サービスの提供・利用のあり方だけでなく、ネットワークの構築・管理のあり方にもソフトウェア的な柔軟性でインパクトを与える抜本的なパラダイムシフトと言えます。

このように大きな変化を実現するうえで、ジュニパーネットワークスのクラウド CPE ソリューションは、総合管理・オーケストレーション プラットフォームである [Contrail Service Orchestration](#) と、ネットワーク サービス プラットフォームの [NFX250](#)などを柱に、ジュニパーの [vSRX 仮想ファイアウォール](#)やサードパーティ製の VNF など、複数の VNF の同時運用が可能な高信頼のオンプレミス デバイスとして利用できます。

ジュニパーの完全モジュール型 NFV フレームワークで大規模環境での自動化を実現

●強力なプラットフォーム：

Verizon の仮想ネットワーク サービスを支えるジュニパーネットワークスのクラウド CPE ソリューションは、唯一のマネージド サービス専用プラットフォームです。Verizon の仮想ネットワーク サービスはアプリケーション第一のマネージド サービスで、エンタープライズ環境でビジネスの機動性とコスト効率を高め、顧客重視の体制づくりに貢献します。

●オープン フレームワーク：

ジュニパーのクラウド CPE ソリューションは、完全モジュール型の NFV フレームワークとして、シームレスな API 統合により、オープンの標準規格やプロトコルをサポートします。このため、既存のサービス プロバイダ環境への統合も円滑に進めることができます。また、オープン ネットワークでは、ジュニパーやサードパーティの多彩なネットワーク機能を実行できるため、サービス プロバイダが企業に提供するアプリケーションの柔軟性が高まるとともに、選択肢の幅が広がります。Verizon では、このオープンフレームワークを導入した結果、

仮想ネットワーク サービスのユーザーはベンダー6社の VNF から好みの製品を選定して、ジュニパーのクラウド CPE ソリューション上で運用できます。

●仮想セキュリティ：

Verizon の法人ユーザーは、Verizon の仮想ネットワーク サービスを通じて、業界トップクラスの効率と性能を誇る仮想ファイアウォール、vSRX を VNF として利用し、データ資産の保護とネットワーク上の脅威の阻止に役立てることができます。

セキュリティとルーティングを搭載した業界最速の仮想プラットフォームとして高い評価を集める vSRX は、コアファイアウォール、ネットワーキング、先進のセキュリティ、クラウド環境の自動ライフサイクル管理などの機能を備えています。

セールス&マーケティング資料はジュニパー パートナー センターで

クラウド CPE の販売・マーケティング アセットは、パートナー センターの [NFV ページ](#) からダウンロードできます。

パートナー プログラム関連ニュース



ジュニパーと VMware による共同ソリューションの解説ビデオ

「Juniper Channel Minutes」の第1回によろこそ。

今週は、アンドレア・ジャラミロと、クラウド アーキテクトのジェームズ・ケリーが登場。

ジュニパーが新たに取得した VMware 認証についてお話しします。また、ジュニパーと VMware が発売する共同ソリューションを紹介し、ジュニパーのパートナー様向けの活用術を解説します。



ソフトウェア分離のメリット



左図のビデオでは、戦略・事業開発担当シニア ディレクター、マーク・シーリーが出演。ソフトウェアの分離がジュニパーのディストリビューター様、チャンネル パートナー様、お客様にもたらす効果について解説します。

ジュニパーでは、ディストリビューター様向けにジュニパーのハードウェア価格を引き下げ、適用領域に合った価格帯へと調整する戦略を打ち出しています。この結果、パートナー様、お客様には、皆様の投資資産を守るという力強いメッセージをお届けできることとなります。また、ソフトウェア分離によって、設備投資から運用コストへと予算を振り向けられるため、購入の選択肢も広がります。

Juniper.net では、[ソフトウェア分離](#)についての詳しい情報を公開しています。
また、ラーニングアカデミーでも、[分離の概略](#)というモジュールをご用意しています。

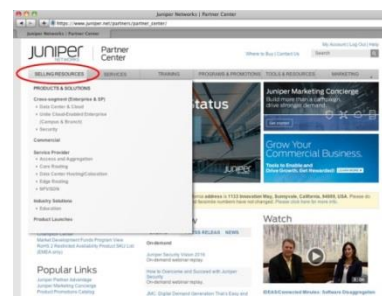
本シリーズの過去のビデオはこちらから

[チャンネル関連ビデオの一覧](#)はパートナー センターでご覧いただけます。

契約獲得に威力を発揮するセールス ツールをお探しならパートナー センターへ

[ジュニパーのパートナー センター](#)のメニュー上に登場した「セールス資料」という新しいタブにお気づきでしょうか。ここには、エンタープライズ、サービス プロバイダ、商用、垂直市場向けの各種製品・ソリューションに関する各種資料へのリンク集があります。対象分野もデータセンター、キャンパス、支店、セキュリティと多岐にわたります。セールス用プレゼンテーション、トレーニング、競合情報、FAQ など多彩なコンテンツが用意されています。パートナー様がお客様との商談や契約獲得にご利用いただける資料がそろっています。

今後数週間かけてパートナー センターのコンテンツを再編・整理し、セールス、お客様、マーケティングに関する資料にワンストップで素早く手軽にアクセスできる環境づくりに取り組めます。メニューのシンプル化、パートナー センター組織の改善を通じて、さらに付加価値の高いパートナー センターをめざします。



**JNCIA-JUNOS と JNCIS-SP の認定資格試験が
日本語で受験可能に**

ジュニパーの認定資格試験が日本語で受験できるようになりました。
詳細は [Pearson VUE](#) をご覧ください。

- [JPN-JN0-102: ジュニパーネットワークス認定アソシエイト —Junos \(JNCIA-Junos\)](#)
- [JPN-JN0-360: ジュニパーネットワークス認定スペシャリスト サービス プロバイダルーティングおよびスイッチング \(JNCIS-SP\)](#)

下記の 2 試験の日本語版も近日開始予定です。

- [JPN-JN0-1100: ジュニパーネットワークス認定設計アソシエイト \(JNCDA\)](#)
- [JPN-JN0-1300: ジュニパーネットワークス認定設計スペシャリスト データ センター \(JNCDS-DC\)](#)



ジュニパー製品の登録忘れはありませんか？
お客様満足度向上につながる登録にご協力ください

ジュニパーではこのたび業務システムの SAP 環境への移行を通じて、業務効率化を進めています。最終的には、お客様の満足度向上にもつながるものと確信しております。パートナー様には、お客様に納入したハードウェアならびにソフトウェアの登録をお願いしております。詳細は[パートナー様向け登録手順](#)をご覧ください。

SAP 導入前の手順に変更があります。サポート購入オーダーに記載されたエンドユーザーのロケーションにハードウェアやソフトウェアを登録していただけるよう、パートナー様の支援体制を整えています。

登録には次のようなメリットがあります。

- 正しいお客様所在地に正確に登録することにより、ジュニパーによる補修部品確保の精度が高まり、サービス契約と顧客満足度の向上に寄与します。
- サポート更新システムでパートナー様サポート更新時期をはっきりと特定し、パートナー様の継続的な収益確保につなげます。
- 製品を登録することにより、お客様が契約したサービス レベルを確実に教授できるようになります。未登録製品のサービスは、ベストエフォートでのエスカレーション型の提供となります。

現在、パートナー様、お客様の登録プロセスの簡素化に努めています。
今後、進展があり次第、お知らせします。

Junos Space Service Now ソフトウェア強化でサポート パートナー様を支援

[Junos Space Service Now ソフトウェア](#) (16.1R1) と [Advanced Insight Scripts](#) (AI-Scripts 6.0) がアップデートされました。この結果、ジュニパーの認定サポート パートナー様は、お客様のネットワーク上で動作する Junos Space Service Now のバージョンも担当できるようになりました。また、パートナー様は、サポート契約情報がお客様に漏れるのを防止できます。

その他の機能強化

- Occam サポート：
Junos Space Service Now で、MX シリーズ ルーターや EX シリーズ スイッチ向けの Junos 15.1 をサポート
- サポート対象として、新たに 23 種類の Junos OS プラットフォームが追加

- Junos Space Service Insight Proactive Bug Notification (PBN) が Junos Space Service Now で定義した組織でフィルタリング可能に
- ケース移行していないイベントはオートページに設定可能に

詳細については、TechLibrary の [サービス自動化ページ](#) をご覧ください。

日本で新たに展開中のプロフェッショナル サービス マーケットプレイス キャンペーンで、パートナー プロフェッショナル サービスを手がけるパートナー様が多くの見込客を獲得

先ごろ TechTarget と協力し、プロフェッショナル サービス マーケットプレイスの認知度アップを図るキャンペーンを実施、ASEAN、インド、オーストラリア・ニュージーランド地域で 285 件の見込客を獲得しました。いずれもジュニパーの認定パートナー プロフェッショナル サービス プログラムの契約に発展する可能性があります。

これとは別に、TechTarget の日本語版ポータル サイトでも同一キャンペーンが 7 月から始まっており、9 月まで開催予定です。

ラーニング アカデミー関連ニュース



「Security on Caffeine」 : Sky Advanced Threat Prevention

ジュニパーネットワークスはソフトウェア定義型セキュリティ ネットワークを打ち出し、セキュリティ分野をどのように切り開いていくのでしょうか。

「[Security on Caffeine—Sky Advanced Threat Prevention](#)」では、2 人の Sky ATP エキスパートが登場、その仕組み、ジュニパーのセキュリティ ソリューションが競合製品より優れている点、お客様への売り込み術などについて語り合います。

ソフトウェア分離の概要

ソフトウェア分離が話題になっています。従来のハードウェアモデルと、ソフトウェア分離モデルはどのように違うのでしょうか。またどのようなメリットが期待できるのでしょうか。



こうした疑問をお持ちの方におすすめしたのが、「[ソフトウェア分離の概要](#)」トレーニングです。このような疑問への回答のほか、以下の情報が用意されています。

- ジュニパーがソフトウェア指向のビジネス モデルに軸足を移している理由
- ジュニパーのソフトウェア ライセンス モデルとの関係から見た分離のあり方
- ジュニパーの分離モデルの主なコンポーネント